日本専門新聞特集号

発行　公益社団法人
日本専門新聞協会
編集　広報委員会
住所　〒105-0001 東京都港区虎ノ門
1-2-12 第２興業ビル
TEL.03-3597-8881 FAX.03-3508-8888
http://www.senmonshinbun.or.jp

入選キャッチフレーズ

日本専門新聞協会は、第79回新聞週間にちなみ「新聞週間キャッチフレーズ」を全国から募集していたが、その入選が次のように決まった。（敬称略）

〈優秀作〉
ＡＩが 語れぬ現場 足で追う
確かな事実 専門紙
上山 愛子（一般応募）

〈佳作〉
情報の ファクト見極め 読み解いて
未来へつなぐ 専門新聞
杉本 湘路（一般応募）

〈佳作〉
加速する ＡＩ 社会に 人の目で
とらえる価値を 専門新聞
高橋 涼子（一般応募）

令和8年
第79回
新聞週間

日本専門新聞大会フェスティバル

第1部　小泉 悠 氏が講演



例年、盛況の講演会会場

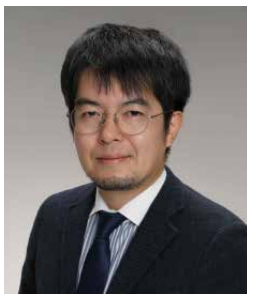
公益社団法人日本専門新聞協会（積田朋子理事長）は、10月20日に東京・千代田区内幸町の帝国ホテル「富士の間」において「第79回新聞週間 日本専門新聞大会フェスティバル」を開催する。

同フェスティバルは、10月15日から一週間にわたる新聞週間に合わせ、当協会の最大の文化的事業・公益目的事業であり、かつ専門新聞として社会の期待に応える決意を内外に示す事業として開催している。幅広い国民の皆様、専門紙読者、政官界、経済界をはじめ各国大使館など多くの方々を招いており、時局講演会、式典、レセプションなど多数の出席が見込まれる。

ＡＩ・ＳＮＳがビジネスや日常生活に浸透し情報の発信が多様化している中、現場の取材を踏まえた確かな情報を届けるという専門新聞の使命が一層重要なものとなっており、フェスティバルを通じて出席者の皆様とともにこれを確認していきたい。

フェスティバル第１部は午後２時30分から、東京大学先端科学技術研究センター 准教授 小泉 悠 氏を講師に招き「ロシア・ウクライナ戦争と日本の安全保障」と題する講演会が行われる。

小泉氏は、早稲田大学大学院修士過程修了後、民間企業に勤務し、外務省専門分析員、ロシア科学アカデミー世界経済国際関係研究所客員研究員などを経て、２０２３年に東京大学先端科学技術研究センター 准教授に就任した。また、２０２４年には衛星画像を用いてリスク分析を行う「ＤＥＥＰＤＩＶＥ（ディープダイブ）」を設立した。専門は、ロシアの軍事・安全保障政策などで、多くのテレビ番組に出演し、注目されるロシア・ウクライナ戦争の推移をわかり易く解説しているほか、ロシアの軍事・国家戦略などをテーマとする数多くの著書がある。



小泉 悠先生

引き続き午後４時15分から第２部式典が開かれ、大会会長の積田理事長挨拶、文化庁長官の祝詞があり、来賓挨拶、そして国際交流を行っている韓国専門新聞協会からの挨拶、さらに加盟社代表者顕彰、加盟社役員表彰、優良社員表彰、33回を迎えた写真コンクール入賞作表彰およびＡＩをテーマとして募集したキャッチフレーズ入選作の発表が行われ、最後に大会アピールが発表される。

第３部レセプションは午後５時45分に開会し、大塚一雄政治連盟会長の挨拶、来賓祝辞、そしてラッキーカード抽選などが行われ親睦を深める。

第79回 日本専門新聞大会

大会アピール

世界は依然として分断と対立の時代の只中にある。ロシア・ウクライナ、中東情勢は出口の見えぬまま長期化し、米国では関税政策をめぐる対立が国際貿易秩序を揺さぶり続けている。11月に控える米中間選挙を前に、物価高への不満は米国内政治の焦点となり、各国の政策運営にも波紋を広げている。

国内に目を転じれば、新政権の下、食料品への消費税負担軽減など生活者支援の議論が進む一方、実質賃金の伸び悩みや政府債務の増大は依然として根深い課題であり続けている。加えて、生成AIの急速な進化は報道の現場そのものを変容させつつあり、情報の真偽を見極める力がこれまで以上に問われている。

こうした先行きの見えにくい時代だからこそ、私たち専門新聞は、専門性に裏打ちされた確かな取材力と公正な視点によって、複雑化する社会課題に真摯に向き合わなければならない。

私たちは、専門新聞としての矜持を胸に、自由で強靭、そして持続可能な社会の実現に向け、言論の使命を果たし続けることを、ここに宣言する。

大会スローガン

- 不確かな時代だからこそ、信頼できる情報を発信しよう!
- すべての専門新聞への消費税軽減税率の適用を実現しよう!
- 国民の知る権利に応えるため、第三種・第四種郵便制度を堅守しよう!

総勢 13 人を表彰

日本専門新聞協会は、新聞週間に合わせて加盟社の役員、社員に対し顕彰・表彰を行っており、令和8年度は総勢13名を表彰することになった。

≪顕彰≫　（敬称略）

功労章	
菊池 英也	（株式会社 日刊建設タイムズ社）
功績章	
大迫 博人	（株式会社 鹿児島建設新聞）
田中 貴士	（株式会社 鋼構造出版）
佐藤 周	（株式会社 輸送経済新聞社）

≪表彰≫　（敬称略）

加盟社役員　表彰	
森田 淳	（株式会社 観光経済新聞社）

≪表彰≫　（敬称略）

加盟社優良社員　表彰	
大嶋 聖三	（株式会社 大分建設新聞社）
長谷川 潤	（株式会社 環境新聞社）
坊ケ田 知大	（株式会社 観光経済新聞社）
舘坂 康浩	（株式会社 建設新聞社）
浅野 智樹	（株式会社 建設新聞社）
荒木 悟	（株式会社 建設新聞社）
藤井 瑞穂	（株式会社 建通新聞社）
吉田 千歳	（株式会社 日本工業経済新聞社）

第79回 日本専門新聞特集号 挨拶



国民の皆さま、そして加盟社の皆さまのために！

公益社団法人 日本専門新聞協会
理事長 **積田朋子**

第79回新聞週間、日本専門新聞大会開催にあたり、協会を代表し一言ご挨拶をさせていただきます。

本年は、日本全国各地で度重なる豪雨被害、台風による風水害、さらに熊本地震被害、千葉豪雨被害、そして能登半島の復興も道半ばという状況にあります。また世界ではロシアによるウクライナ侵攻は未だ終局が見通せない状況が続いており、さらにアメリカ・イスラエルによるイランへの攻撃が始まり、世界経済また社会生活、など大きな影響を与えております。

開会に当たり、災害により被害に遭った皆さまの復興、そして早く戦争が終わり国際社会・経済が安定し、安心して暮らせる世界に戻るよう心より祈念申し上げます。

本日は公務ご多忙のところ、国会議員の皆様、文化庁より助川隆国語課長、韓国専門新聞協会より金光卓会長をはじめ多くのご来賓の皆様にお越しいただき厚く御礼を申し上げます。

日本専門新聞協会は、昭和22年に設立され80年を迎えます。この間、支えていただいた多くの読者の皆さま、加盟社の皆さま、そして協力会社の皆さまに心より感謝申し上げたいと存じます。

また協会の発展に尽力してこられた、多くの諸先輩の皆様に衷心より敬意を表したいと思います。

当協会は現在、国会、国土交通省、東京都に記者会を持ち、迅速・正確・公正な報道活動により各専門分野の産業を下支えし、日本の経済発展に寄与して参りました。今後も公益法人としての役割を果たし、広く国民の皆さまの利益に資する、また加盟社の皆さまの事業運営に役に立つ事業を真摯に着実に行っていく所存でございます。

現在ＡＩは、社会全体としてその急速な進化に伴い、導入戦略、構造的な体制整備、法的整備、さらには環境への影響の研究など、様々な対応が迫られています。

ＡＩ（人工知能）は職場を大きく変えつつあり、それは必ずしも最近しばしば喧伝されているような「ＡＩが人の仕事を置き換える」というマイナスな意味ばかりではなく、「職場で導入が進み、ＡＩが既存業務を効率化するだけでなく、ＡＩに関連した新しい仕事を生み出している」と前向きにとらえることも必要です。

新聞業界にとっては取材、記事作成など新聞発行には欠かすことが出来ない重要なインフラとして、いかに効果・効率的に活用していくかが求められています。

そうした状況の中で、本年5月に、ここにご出席の韓国専門新聞協会 金会長をはじめとする15名の役員のみなさまと、ＡＩをテーマとした合同役員研修会を実施し意見交換を行いました。また11月にはＡＩを導入・活用されている加盟社に、その事例を発表していただくセミナーを予定しているところでございます。

日本専門新聞協会は、今後どうやってＡＩの活用戦略を構築するかなど、加盟社皆さまのお役に立つことができるよう研究し、情報提供、またセミナーなど実施して参りたいと思います。

本日表彰されます皆さま、誠におめでとうございます。

この日本専門新聞大会は、公益法人としての「公益目的事業」であり、新聞ならではの「文字・活字文化の発展」に寄与するものとして、また協会加盟社の皆さま主催の「文化的事業」として開催しているものでございます。有意義な時間をお過ごしいただければ幸甚に存じます。

本日は大変お忙しいなか、多数ご参集賜り厚く御礼申し上げます。引き続きどうぞご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。本日はありがとうございました。



戦争はやめて、世界が益々平和でありますように

日本専門新聞政治連盟
会長 **大塚一雄**

日本専門新聞大会の開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

いま世界はロシアのウクライナ侵攻の継続、そしてイラン戦争継続中であります。

イスラエルと米国によるイラン紛争は、いまなおホルムズ海峡の石油タンカー運航権をめぐって紛争中でありますが、同地域の国々は昔からの極貧状態からの脱出と富裕層や米国など覇権国家への反発も根強く、その一端がいまから25年前の9月11日に世界中の人々を恐怖のドン底に陥れた殉教者を名のる一部過激テロ分子による米国ニューヨークでの同時テロ事件でもありました。

過日夫婦共々米国を訪れた習近平中国国家総書記は、トランプ大統領夫妻並びに重要閣僚らと共に前例のない大歓迎と接待を受け、〝我々両国はいまも昔も同盟国同志であります〟などと世界のＶＩＰが驚愕するような公的発言をしました。

我々日本の報道人も、今年もこの新聞週間にあたって、世界平和への誓いを新たにしようではありませんか。

さる9月17日には第2次高市改造内閣が発足しました。

本年2月の衆議院議員選挙で大勝した自民党は、日本維新の会との連立政権で国旗損壊罪の創設、皇室典範の改正、消費税減税などの政策を次々と進めています。高市第2次改造内閣の支持率は高く、従いまして我々専門新聞業界も今後もさまざまな政策の具体的実行状況に、さらに注目し、期待したいと思います。

時代の波に乗って、Ｘ（エックス）やＹｏｕＴｕｂｅ（ユーチューブ）などのデジタルネットワークが主戦場になっていることも高市内閣支持好評に影響しているとは思われますが、マスメディアでもある我々専門新聞業界も、デジタル環境またはＡＩを活用した今後の動きを的確に捉え、各社それぞれの分野の専門新聞として国家社会のために、さらに積極的に活動していくことが重要であると考えます。

また我々専門新聞業界は、第三種郵便制度の維持継続はもちろんのこと、その他の政策課題、メディア事業の拡充、加えて専門新聞の活躍にご理解をいただいている数多くの国会議員の皆さまにも、さらなるご支援をご期待申し上げます。

当政治連盟は、加盟各社の事業経営に資する活動をこれからも継続的に、より積極的に行って参ります。今後も会員各位のさらなるご支援とご協力をお願い申し上げまして、政治連盟会長としてのご挨拶といたします。

専門分野から厳選された協会加盟社79社

読者総数は1,200万人に

芝公園のもみじ谷のモニュメント

『複眼的報道の塔』



時代を見すえ悠久の時を刻む ソーラー電波時計

平成16年10月、25年後の後進に夢を託し、塔の基礎部分には当協会の歴史と伝統を次の世代に伝えるため、各加盟社発行の記念紙に記念品を添えて収納し建立したものです。

石原慎太郎元東京都知事をはじめ、都議会議長、建設局長等の協力と支援を得て、都立公園では130年と最も古く、由緒ある芝公園内に、ソーラー三面電波時計付き「複眼的報道の塔」を建立・寄贈したものです。

役員活動体制

＜協会役員・顧問＞

名誉会長	波田幸夫	環境新聞社
理事長	積田朋子	観光経済新聞社
副理事長	石井貞徳	旅行新聞新社
〃	河合良紀	建設新聞社
〃	金子眞紀子	国際農業社
専務理事	須貝律緒	日本専門新聞協会
常任理事	仁平英紀	東京交通新聞社
〃	間庭正弘	日本電気協会新聞部
理事	有馬弘純	塗料報知新聞社
〃	向田克己	薬事日報社
〃	牧村耕一	牧村公認会計士事務所
監事	水野純治	日本歯科新聞社
〃	秋山智昭	秋山法律事務所
顧問	大塚一雄	金融タイムス社
〃	入澤　亨	官庁通信社

＜政治連盟役員・顧問＞

会長	大塚一雄	金融タイムス社
幹事長	仁平英紀	東京交通新聞社
副幹事長	須貝律緒	日本専門新聞協会
〃	大林洋介	教育新聞社
〃	有馬弘純	塗料報知新聞社
監査	林　初男	日本工業経済新聞社
〃	秋山智昭	秋山法律事務所
名誉顧問	波田幸夫	環境新聞社

日本専門新聞大会フェスティバルに協賛いただいている企業様

株式会社きかんし
電話：03-5534-1234
https://www.kikanshi.co.jp/

有限会社 協同新聞出版発送所
電話：03-3375-3661～2
http://kyoudou-1954.jp/

株式会社晃栄社
電話：03-3814-2646
FAX：03-3812-4365

株式会社サンビジネス
電話：03-3455-5294
https://www.sunbi.co.jp

勝美印刷株式会社
電話：03-3812-5201
https://www.shobix.co.jp

情報印刷株式会社
電話：03-3262-5740
http://www.johopt.com

東伸 IT 株式会社
電話：03-5638-7210
https://toshin-it.co.jp

JAPAN SPECIALIZED NEWSPAPERS ASSOCIATION

第79回新聞週間 第33回日本専門新聞 写真コンクール

文部科学大臣賞など入選作品19点決まる

公益社団法人日本専門新聞協会は第79回新聞週間を迎えるにあたり、アマチュア写真愛好家および加盟各社の写真・読者を対象に「第33回日本専門新聞写真コンクール」の作品を募集していたが、審査委員会、理事会でそれぞれの入選作品が決定。受賞者は10月20日の日本専門新聞大会フェスティバルにおいて表彰される。

審査委員長講評



関口 照生氏
日本写真家協会会員
倉敷芸術科学大学客員教授

令和8年の専門新聞写真コンクールは、協会の皆様、各加盟社の協力により協会員はもとより、一般読者の皆様の作品が今年も937点を数えました。

嬉しく皆様に感謝いたします。

審査は例年通り、関口照生、林義勝、共に日本写真家協会会員の両名が行いました。

最優秀賞の文部科学大臣賞には、一般公募の細川弘明氏「望月三変化」が選ばれました。

満月を異なる3ヶ所で大きく、美しく捉えています。よくぞこの場所でこの位置でと感じ入りました。三点の作品が見事に調和し感動さえ覚えました。技術力も高く相当な努力による賜物だと思います。ちなみに、寒い1月の満月を〝ウルフムーン〟と呼ばれているそうですね。

理事長賞は、一般公募の赤沼泰空（ソラ）氏「ドクターS　陸送」3枚組です。

赤沼氏は高校生の頃から力のある作品を応募いただいていた若い作家です。今回の作品も夜から明け方にかけて行われる新幹線の移動をしっかりとした視点でフレームに収めています。今後の作品にも期待しています。

審査委員長賞は、一般公募の蜂谷雅人氏の一枚作品「獅子の火渡り」。北海道の古平町の恵比須神社に伝わる祭りの行事です。立ち上る炎の両側から獅子の顔がのぞき、炎の力感と獅子のおどけた姿の対比がおもしろく、またアンバーのかかった色調がこの作品を際立たせています。

加盟社特別賞は、観光経済新聞社、小林茉莉氏の「最後の見送り～万博最終日」が選ばれました。キャラクターの〝みゃくみゃく〟が赤い大きな頭を下げ184日間の来場者へ感謝の気持ちを表している姿を、作者も同様の気持ちでシャッターを切ったのではないかと推察しました、時期を得たユーモラスな作品となっています。

応募いただいた数々の写真の中に、多くの優秀な作品がみられ、各賞を始め秀作に至るまで選考に苦労しました。加盟社、社員の皆様の作品も優秀な作品が多く嬉しく思いました。

昨年にも増してAIが写真界でも利用されるようになり、AIによって写真作品、また映像界全体にどの様な変化をもたらしていくのか、しっかり見届けて行きたいと思っています。









文部科学大臣賞

望月三変化

細川弘明／一般応募



この度は「文部科学大臣賞」という栄誉を賜り誠にありがとうございます。

この２年間は満月を追い続け撮影してきました。時間と方位を基に撮影場所を決めてもなかなか思い通りの構図が得られず試行錯誤の連続でしたが、昨年姫路城の作品を秀作に選んでいただいたことが励みになりました。月は季節・角度によって色や輝きが変わります。今回は冬２点に夏を合わせてみました。栄えある賞に導いてくれた月に感謝の言葉を捧げます。







理事長賞

ドクターS　陸送

赤沼奏空／一般応募



ドクターイエローの後継「ドクターS」の陸送を一晩かけて追いました。豊川日本車輌工場を出発し、車体が夜の国道をゆっくり進み、明け方にJR東海浜松工場へ到着するまでを組写真にまとめました。新幹線が国道を走る普段は見られない迫力ある光景を、夜から朝へ移り変わる時間とともに記録できたことが印象に残っています。栄誉ある理事長賞を頂けて大変驚き、嬉しかったです。これからも心に残る瞬間を撮り続けていきたいです。



審査委員長賞

獅子の火渡り

蜂谷雅人／一般応募



この度は審査委員長賞に選んで頂き、大変光栄に存じます。2023年から撮影している古平町の浜町恵比須神社例大祭、関係者の方々に良い報告ができます。2500人程の町に人が集まる祭りの日。渡御で集めた穢れを焼き祓う、火渡り神事。高まる熱気の中、炎を渡る猿田彦・獅子舞・神輿は圧巻です。見る側も手に汗握ります。「撮らせてもらっている」気持ちを忘れず、祭りが続いていくよう願いながら、これからも撮影したいと思います。

第79回新聞週間　第33回　日本専門新聞 写真コンクール

加盟社社員・読者及び一般応募　全国から937点

文部科学大臣賞		
望月三変化（３枚）	細川　弘明	一般応募
理事長賞		
ドクターＳ　陸送（３枚）	赤沼　奏空	一般応募
審査委員長賞		
獅子の火渡り	蜂谷　雅人	一般応募
加盟社特別賞		
最後の見送り～万博最終日	小林　茉莉	観光経済新聞社
秀　作		
女性タクシードライバー活躍中!（３枚）	木村　大輔	東京交通新聞社
情熱（３枚）	小杉健次郎	一般応募
除雪車の灯（３枚）	櫻井　勝美	一般応募
激走（３枚）	城田　清延	一般応募
都市の代謝（３枚）	相馬　達也	一般応募
時が動き笑顔が揺れる（３枚）	高宮　幸子	一般応募
ワンちゃんも家族	武田　治	一般応募
空中戦	戸崎　安司	一般応募
雨上がりの上海豫園路	永井　孝明	建通新聞社
キャッツの一日（３枚）	永野　修身	一般応募
神戸ルミナリエ －鎮魂と追悼－（３枚）	中本　則昭	一般応募
火ぶり漁	西田　隆	一般応募
思い切り弾ける	野田　悦登	一般応募
はたち（３枚）	村上　泉	一般応募
春爛漫	米子　浩幸	一般応募



加盟社特別賞

最後の見送り～万博最終日

小林茉莉／観光経済新聞社



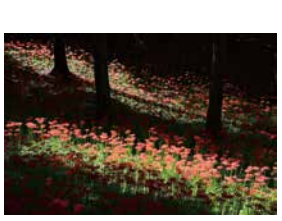
この度は加盟社特別賞に選出いただき、ありがとうございます。この作品は、大阪・関西万博の最終日に会場のミャクミャク像を写したものです。このミャクミャクは「いらっしゃいませ」の文字とともにいつも来場者を出迎えてくれる存在でした。閉幕日、帰路に着く人の波の中で、膝をついたミャクミャクの後ろ姿がお見送りをしているように感じられ、思わずシャッターを切りました。万博取材漬けだった昨年を象徴する１枚です。

秀　作






女性タクシードライバー活躍中!（3枚）
木村大輔／東京交通新聞社





情熱（3枚）
小杉健次郎／一般応募



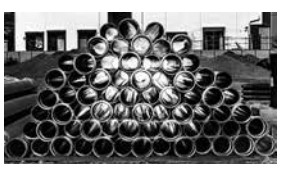


除雪車の灯（3枚）
櫻井勝美／一般応募





激走（3枚）
城田清延／一般応募


都市の代謝（3枚）
相馬達也／一般応募





時が動き笑顔が揺れる（3枚）
高宮幸子／一般応募





キャッツの一日（3枚）
永野修身／一般応募





神戸ルミナリエ －鎮魂と追悼－（3枚）
中本則昭／一般応募





はたち（3枚）
村上　泉／一般応募



ワンちゃんも家族
武田　治／一般応募



空中戦
戸崎安司／一般応募



雨上がりの上海豫園路
永井孝明／建通新聞社



火ぶり漁
西田　隆／一般応募



思い切り弾ける
野田悦登／一般応募



春爛漫
米子浩幸／一般応募